

THIS TIME SHOP

「MEC ハブ」コンセプトを推進 地域コミュニティと共有する 新世代のトヨタディーラー

大阪トヨペット株式会社 西淀店

大阪府大阪市西淀川区野里 3-2-12



大阪トヨペット株式会社の西淀店は近隣の拠点を統廃合し、系列のトヨタレンタリースとの併設店として 2025 年 5 月にオープンしました。トヨタ自動車が将来の販売店のあり方として掲げる「モビリティ (Mobility)」、「エネルギー (Energy)」、「コミュニティ (Community)」の 3 つの機能を持つ拠点構想として掲げる「MEC ハブ」をコンセプトに採り入れた次世代型店舗です。クルマの販売に留まらず移動を提供するモビリティサービス、EV 用の急速充電設備や太陽光発電を備えるなど、カーボンニュートラル社会の実現に向けたエネルギー供給の拠点、そして地域の人が集まる地域コミュニティとしての交流の場という 3 つの要素を備えています。

整備作業場はサービスエンジニアの安全と作業の快適性、そして生産性を重視した設計とレイアウトを採り入れ、ES と CS の向上を推し進めています。

POINT 1 モビリティ、エネルギー、コミュニティ 地域と触れ合うオープンな店舗



「MEC ハブ」を具現化する先駆けとなった西淀店のショールーム。



ラグジュアリーな納車ルーム。トヨタレンタリースを併設。



待合室はくつろぎの空間。



太陽光発電量を店内に明示。

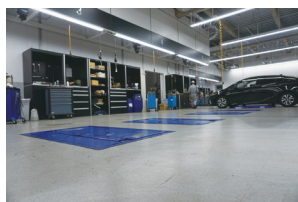
最大 6 台を展示できるショールームは 90 名分のお客様の席を確保。2 階の納車ルームも含めてバリアフリー化を施しました。また、2 ヶ月毎のペースで近隣の子どもたちにキッズアカデミーを開催。地域コミュニティとの距離を縮め、共有スペースとの役割を担っています。

POINT 2 メカニックの働きやすさと生産性向上で 顧客の安心と満足感をさらに高める



検査ラインを含めて全 7 ストールの整備作業場。空調完備、床面をノラメント仕様にし、メカニックの働きやすさを推進。

メカニックの働きやすさ、安全性と生産性の全てを向上させた整備作業場を具現化。リールをパネル裏に設置し、天井をすっきりみせるとともに、ストール毎にキャビネットを配置するなどデザインと 5S 向上にも力点を置いた作業場を実現した。



リフトはスイングアーム 2 基。2 ウェイ 3 基、ドライブオンを設備。



OSS 連携のフルフラット 4WD 検査ライン。



下部洗付門型洗車機は 1 階と 2 階に各 1 台を設備。グレーチングは FRP。